

はげら池のほとりで

Vol.15
H29.12.15



～県大と地域をつなぐ～

この情報紙は、県立広島大学庄原キャンパス（以下「県大」と表記）の学生や教授が、どんなことを行っているのかだけでなく、市内で学生と活動している人たちを紹介し、大学と地域をつなぐことを目的としています。



*タイトルにある「はげら池」は県立広島大学庄原キャンパスにある池の名称です。

庄原まんぷくツアー

「庄原」の地を活かしたツアーの開催！



帝釈峡での記念撮影

11月11（土）～12日（日）の2日間、県大3年生古毛堂紗英さん、百田美遥さんが企画した「庄原まんぷくツアー」が開かれました。これは、県大生のキャンパスの活性化につながる自主活動に対し、県大から費用を受けて実施される「キャンパスライフ・プロジェクト」に採択されたもので、県大生を対象とし、庄原の主な産業である農業を通し、農作業体験、料理教室や観光を取り入れたツアーが行われました。当日は15名の県大生が参加し、市内店舗や敷信村農吉での農作業体験、地域の野菜を使ったお弁当作り教室、

帝釈峡では入船浩平教授から植物の豆知識の話を聞きながら、みんなで紅葉を楽しみました。この企画は2人が2年生の春に東京で行われた全国の大学の農業系サークルのイベント“リーダーズキャンプ”に参加し、他の大学生から刺激を受けて庄原を多くの県大生にも知ってもらいたいとの思いから立ち上げられました。

古毛堂さんと百田さんは「実際に動き始めてみると学業やサークル等で忙しく挫折しそうになりましたが、庄原のみなさんを含め色々な人に助けられました。みなさんの優しさでできたツアーです。そして、そういった事を感じられたのが1番の思い出です」と話してくれました。

平成29年度県立広島大学市民公開講座（後期）

テーマ「学生からみた庄原の暮らし」

11月15日（水）、「学生からみた庄原の暮らし」をテーマとして、今年度3回目となる平成29年度県立広島大学市民公開講座（後期）が開催されました。通常は県大の先生の講義ですが、今回は、県大生4名（2年生1人、3年生2人、大学院生1人）が登壇し発表。当日は23人の市民の方が聴講され、学生からは、学生生活や、サークル・部活動などでの地域との関わりを通して庄原で生活して感じた事などを話してくれました。発表した皆さんは、



庄原市のために！と話される西川さん

県大に入って初めて庄原に来た学生。

発表では、庄原に住んでいると気付かないことや若い人の気持ち、更には外から来た人の気持ちなどを知ることができ、大変面白く聞かせてもらいました。中山間地域・庄原の活性化、学生と地域の人達との繋がりや庄原の業者と関わりながら自分の研究を還元しようと考えている学生がおり、皆さんそれぞれ庄原での大学生活を楽しみ、有意義なものにしたいとの熱い気持ちが伝わる発表でした。



熱い思いを語られる時武さん

しょうばら哲学カフェ

テーマ『私』って誰？

11月11日(土) HOME Spring で2回目の“しょうばら哲学カフェ”が『私』って誰?というテーマで開催されました。この「哲学カフェ」は、檀上理恵さん(元地域おこし協力隊)と上西みどりさんが、たくさんのあふれる情報の中でも、本当に大事だと思える諸問題について、自分の頭で納得いくまで、気軽に自由に誰かと話し合える場を作りたいという思いから始まりました。

今回は、県大生を含む7名の参加でしたが、皆さんそれぞれ意見を出し合い楽しい時間を過ごしました。

県大3年生の西川里紗さんは「日常の中で物事の本質を突き詰めて考える機会はほとんどないので、自分の中でもややもやしていた考えを整理する良いきっかけになりました。色々な意見に触れながらざっくばらんにお話でき、とても楽しかったです」と話されていました。

毎月第2土曜日に開催されていますので、興味のある方は上西さん(090-2295-5247)までお問い合わせください。



みんなで語らい「哲学カフェ」

ヒロカ HIROCA加盟店を紹介します!

県立広島大学、(株)広島銀行、庄原市はIC学生証導入に伴い、市街地のにぎわい創出に協力する取り組みを進めています。ここではこの取り組みに協力頂いている店舗を紹介します。

ひだまりカフェ 庄原市東本町1丁目25-13

「ひだまりカフェ」は、平成26年3月に開店した庄原中学校の下にある小さなカフェです。「仕事で疲れた時に立ち寄った店で飲んだ珈琲に癒され“一杯の珈琲で人を元気に出来る”私もこんな仕事をしたい!自分もやってみようと思ったのが、お店を始めるきっかけになった」と店主の木村淑さん。



とってもおいしい!
フレンチトースト



赤と白を基調とした外観

勤めておられた会社を退職し、東京のカフェの学校で3ヶ月の修行の後、道すがら通っていた空き店舗を見つけ、若い女性をターゲットにした赤と白を基調とした店舗とされました。現在は、若い女性だけでなく、午前中はシニアの方も訪れるカフェとなっており、息子さんと一緒に店を切り盛りされています。

木村さんは「最近県大生の女の子もよく来てくれるようになりました。新メニューや、イベント等の情報はFacebookに掲載しているので多くの人に来てもらえれば」と話されました。

編集後記

記事にもあるように県大の公開講座で県大生の想いを聞いてきました。特に1人の学生は地域の人達とも繋がり、同じ思いの友達と庄原を楽しむ企画を実行していて、同じ庄原市外から来た立場として、何も無いところから自分達だけで良く頑張ったなあという思いや嬉しい思い、それとうらやましい思いが交じり合い涙が出そうになるくらい良い発表でした。



地域おこし協力隊
日置 大輔